



## 平成23年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月12日

上場取引所 大

上場会社名 シンワアートオークション株式会社  
コード番号 2437 URL <http://www.shinwa-art.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 倉田 陽一郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 益戸 佳治

TEL 03-3520-0066

四半期報告書提出予定日 平成22年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年5月期第1四半期の業績(平成22年6月1日～平成22年8月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年5月期第1四半期	252	232.6	△10	—	△14	—	△21	—
22年5月期第1四半期	75	△58.2	△121	—	△121	—	△127	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年5月期第1四半期	△387.27	—
22年5月期第1四半期	△2,319.08	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年5月期第1四半期	1,427	1,178	82.4	21,424.27
22年5月期	1,843	1,196	64.8	21,811.30

(参考) 自己資本 23年5月期第1四半期 1,175百万円 22年5月期 1,194百万円

### 2. 配当の状況

	第1四半期末	第2四半期末	年間配当金			合計
			第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
23年5月期	—					
23年5月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年5月期の業績予想(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	460	17.8	△2	—	△3	—	△4	—	△73.81
通期	843	14.4	8	—	8	—	5	—	107.33

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年5月期1Q 57,979株 22年5月期 57,879株

② 期末自己株式数 23年5月期1Q 3,098株 22年5月期 3,098株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年5月期1Q 54,877株 22年5月期1Q 54,776株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表時現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表時における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
4. 補足情報 .....	8
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	8

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成22年6月1日～平成22年8月31日)におけるわが国の経済は、政府の経済対策の効果や輸出関連業種を中心とした業況回復により、足元の景気は緩やかな回復傾向にあったものの、米国や欧州の金融不安を背景とする急激な円高や株価の変動などにより、景気が下押しされるリスクが強まってきており、非常に先行き不透明な状況となっております。

このような環境の下、当社は引き続き徹底したコスト管理のもと高額美術品を中心とした優良作品のオークションへの出品及び富裕層を中心とした美術品コレクターのオークションへの参加促進に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期会計期間は、取扱高1,069百万円(前第1四半期比305.2%増)、売上高252百万円(同232.6%増)と前年同期比で大幅に伸長することができました。当第1四半期のオークション開催数は前年同期と同数の4回でありましたが、出品点数は前年同期比で60.9%増となり、落札率も92.2%と高水準を維持し、取扱高及び売上高ともに増加となりました。

利益面におきましては経常損失、四半期純損失となりましたが、売上高の増加に加え販売費及び一般管理費の削減も進んでおり、損失金額は21百万円(前第1四半期は127百万円の損失)と、当初の予想の範囲内であると認識しております。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

流動資産は前会計年度末に比べて23.2%減少し、1,335百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少234百万円、前渡金の減少209百万円及び商品の減少77百万円と、オークション未収入金の増加119百万円によるものであります。

固定資産は前会計年度末に比べて11.1%減少し、92百万円となりました。これは主に投資その他の資産のその他の減少9百万円によるものであります。

この結果、総資産は前会計年度末に比べて22.5%減少し、1,427百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は前会計年度末に比べて63.4%減少し、228百万円となりました。これは主に短期借入金の減少201百万円及びオークション未払金の減少196百万円によるものであります。

固定負債は前会計年度末に比べて5.4%減少し、20百万円となりました。これは退職給付引当金の減少によるものであります。

この結果、負債合計は前会計年度末に比べて61.4%減少し、249百万円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は前会計年度末に比べて1.5%減少し、1,178百万円となりました。これは主に当第1四半期純損失の21百万円によるものであります。

#### (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は平成22年5月末より174百万円減少し、277百万円となりました。当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は32百万円(前第1四半期比89.6%減)となりました。これは主にオークション未収入金の増加による減少119百万円及びオークション未払金の減少による減少196百万円に対し、前渡金の減少による増加209百万円及びたな卸資産の減少による増加77百万円によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、59百万円(前第1四半期は38百万円の使用)となりました。これは主に定期預金の預入、払戻の差引による収入60百万円によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は199百万円(前第1四半期は0.1百万円の獲得)となりました。これは主に短期借入金の純増減(△は減少)の201百万円の減少によるものであります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

現時点で平成22年7月9日に発表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ392千円減少しており、税引前四半期純利益は8,617千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による敷金及び保証金の変動額は8,225千円であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	537,073	771,530
オークション未収入金	175,743	56,220
商品	232,404	310,363
前渡金	334,991	544,396
その他	55,577	57,013
貸倒引当金	△274	△69
流動資産合計	1,335,517	1,739,454
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	22,161	24,471
車両運搬具(純額)	2,296	2,787
工具、器具及び備品(純額)	3,950	4,358
有形固定資産合計	28,409	31,617
投資その他の資産		
その他	126,411	135,640
貸倒引当金	△62,593	△63,490
投資その他の資産合計	63,818	72,149
固定資産合計	92,227	103,767
資産合計	1,427,744	1,843,222
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	469	439
オークション未払金	6,632	202,901
短期借入金	159,000	360,000
未払法人税等	1,284	3,341
賞与引当金	9,342	13,698
その他	51,943	44,413
流動負債合計	228,671	624,793
固定負債		
退職給付引当金	20,850	22,050
固定負債合計	20,850	22,050
負債合計	249,521	646,843

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	780,221	779,125
資本剰余金	384,971	383,875
利益剰余金	98,448	119,700
自己株式	△87,856	△87,856
株主資本合計	1,175,785	1,194,844
新株予約権	2,437	1,533
純資産合計	1,178,222	1,196,378
負債純資産合計	1,427,744	1,843,222

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)
売上高	75,786	252,059
売上原価	45,414	126,466
売上総利益	30,372	125,592
販売費及び一般管理費	152,073	136,339
営業損失(△)	△121,701	△10,746
営業外収益		
受取利息	439	301
受取査定報酬	92	—
受取保管料	—	1,011
その他	459	389
営業外収益合計	991	1,701
営業外費用		
支払利息	—	1,104
為替差損	1,170	3,908
その他	0	—
営業外費用合計	1,170	5,012
経常損失(△)	△121,881	△14,057
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	692
未払配当金戻入益	298	561
特別利益合計	298	1,253
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	8,225
事務所移転費用	5,107	—
特別損失合計	5,107	8,225
税引前四半期純損失(△)	△126,689	△21,029
法人税、住民税及び事業税	340	222
法人税等合計	340	222
四半期純損失(△)	△127,029	△21,252



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△126,689	△21,029
減価償却費	2,882	3,208
貸倒引当金の増減額(△は減少)	70	△692
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,265	△4,356
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,350	△1,200
受取利息及び受取配当金	△439	△301
支払利息	—	1,104
為替差損益(△は益)	1,049	3,146
売上債権の増減額(△は増加)	23,428	—
オークション未収入金の増減額(△は増加)	371,612	△119,523
たな卸資産の増減額(△は増加)	△36,632	77,958
前渡金の増減額(△は増加)	△154,808	209,404
仕入債務の増減額(△は減少)	△21,000	30
オークション未払金の増減額(△は減少)	△335,510	△196,269
未収消費税等の増減額(△は増加)	14,170	5,345
その他	△43,054	11,958
小計	△309,537	△31,214
利息及び配当金の受取額	420	225
利息の支払額	—	△762
法人税等の支払額	△1,485	△632
営業活動によるキャッシュ・フロー	△310,602	△32,383
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△8,698	—
定期預金の預入による支出	△85,000	△85,000
定期預金の払戻による収入	70,000	145,000
差入保証金の差入による支出	△15,186	△339
その他	588	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,296	59,660
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△201,000
株式の発行による収入	125	2,150
配当金の支払額	—	△300
財務活動によるキャッシュ・フロー	125	△199,150
現金及び現金同等物に係る換算差額	△833	△2,583
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△349,607	△174,457
現金及び現金同等物の期首残高	767,594	451,530
現金及び現金同等物の四半期末残高	417,987	277,073

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当社は、主に美術品を対象としたオークション運営事業を行っており、生産実績の記載はしていません。

## (2) 受注実績

当社は、受注生産を行っておりませんので、受注実績の記載はしていません。

## (3) 販売実績

	当第1四半期会計期間（自 平成22年6月1日至 平成22年8月31日）							
	取扱高（千円）	前年同四 半期比 （%）	売上高（千円）	前年同四半 期比（%）	オークショ ン開催数 （回）	オークショ ン出品数 （点）	オークショ ン落札数 （件）	落札率 （%）
近代美術オークション	632,890	540.3	117,697	309.5	1	150	138	92.0
近代陶芸オークション	49,940	23.9	11,798	△9.2	1	197	178	90.4
近代美術Part II オークション	59,675	38.8	16,835	23.2	1	380	369	97.1
その他オークション（注）1	24,635	△0.2	5,347	△29.2	1	166	138	83.1
オークション事業合計	767,140	271.0	151,678	141.0	4	893	823	92.2
プライベートセール	79,335	174.7	75,557	1,511.4				
その他	223,182	689.0	24,823	204.7				
その他事業合計	302,517	429.2	100,381	682.0				
合計	1,069,657	305.2	252,059	232.6				

(注) 1. その他オークションの開催については、出品の状況により随時開催しております。当第1四半期会計期間（平成22年6月1日～平成22年8月31日）は、Jewellery&Watchesオークション1回を開催しております。

2. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 平成22年7月24日開催近代美術オークションで落札された商品のうち、購入代金が未回収のものについては、当社の規定に照らし、現時点では計上基準を満たしていないものと判断したため、取扱高及び売上高から当該商品分を一旦除外しております。

4. 当社の事業構造として、オークションが第2四半期及び第4四半期に多く開催される傾向があるため、四半期会計期間別の業績には季節的変動があります。